

令和3年度第2回浦安市学校給食センター運営委員会議事録（議事要旨）

1 会議について

令和3年度第2回浦安市学校給食センター運営委員会議事は、通常の会議を開催せず、書面により審議及び意見交換する書面会議とした。

2 第2回会議の流れ

内容		日程
資料送付	第2回会議資料の送付	1月24日
委員からの提出期限	報告事項などに対する意見・感想提出	2月4日
資料送付	議事録案作成	2月21日
議事録案確認・確定	第2回会議の議事録確認・確定	2月28日

3 出席者

（委員）

吉田会長、西澤副会長、佐々木委員、佐久間委員、井上委員、遠藤委員、小野尾委員、渡邊委員、大前委員、高梨委員、高橋委員、佐藤委員、高柳委員、林田委員、多田委員

4 議事

議題については、書面会議として資料に基づき、審議及び委員から提出された意見などに対して回答を行った。その内容は別紙のとおり。

・報告事項

- (1) 学校給食食材の放射性物質検査について
- (2) 学校給食における異物混入発生状況について
- (3) 食育事例報告「授業で学んだ栄養素などを活用した給食献立の提案」について

令和3年度第2回浦安市学校給食センター運営委員会議

意見・感想及び回答一覧

・報告事項

- 1 学校給食食材の放射性物質検査について
- 2 学校給食における異物混入発生状況について
- 3 食育事例報告「授業で学んだ栄養素などを活用した給食献立の提案」について

議題 1 学校給食食材の放射性物質検査について

1	<p>(ご意見・ご感想)</p> <p>放射能の影響を受けやすい子ども達に対し、常日頃食べている給食において定期的な放射性物質の検査により安心・安全な食材の調達を行い、更に一般食品においては国の基準よりも半分の基準を設けて給食の提供をして頂きとても安心しました。</p> <p>(回答)</p> <p>学校給食で使用する食材については、より一層児童生徒等の安全安心を確保するため、来年度も引き続き検査を実施していきます。</p>
2	<p>(ご意見・ご感想)</p> <p>放射性物質検査では、今まで国の基準を超えたことがないということで安心ですね、という感想を持ちました。</p> <p>(回答)</p> <p>来年度も引き続き検査を実施することで、より一層の安心・安全な学校給食の提供に努めてまいります。</p>
3	<p>(ご意見・ご感想)</p> <p>平成 24 年度より毎月 2 回サンプル検査を行い、基準値を超える検体が今まで 1 件も検出されないということでとても安心ですが、今後もこの検査は必要なのでしょうか。</p> <p>東日本大震災直後は、放射性物質が食材から検出されないかがとても気になりましたが、今はそのような状況ではないのではないかと考えています。検査をしなければならないことが決まっているならば実施していただくことが必要だと思いますが、そうでなければ、検査回数を減らしたり、検査自体を行わないようにしていったりという選択があるのではと考えます。</p> <p>(回答)</p> <p>学校給食に関し、より一層の安心・安全を確保するため、自主的に検査を実施しています。</p> <p>近年、近隣市では測定値が安定的に低減していることを理由に給食食材の放射性物質検査を縮小・廃止しているところがあり、また、本市においても平成 24 年度開始から現在に至るまで、国の基準値を超える検体は 1 件も検出されていないことなどから、今年度に検査事業の見直しや廃止を検討しました。</p> <p>その結果、より一層の安心・安全な学校給食を提供するため、引き続き給食食材について検査を実施し、どの程度放射性物質が含まれているかを継続して把握していきたいと考えています。</p> <p>今後、学校給食食材放射性物質検査を取り巻く状況を注視し、必要に応じて、事業見直しを検討します。</p>

4	<p>(ご意見・ご感想) 「令和3年度放射能検査(測定)結果(7月～12月)」の図表に単位表記がありません。資料を読み進めると、単位が[Bq/kg]である事が類推できますが、あっておりますでしょうか。</p> <p>(回答) 「令和3年度 放射能検査(測定)結果(7月～12月)」の表において、単位の記載漏れがありました。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。 放射能を表す単位は、ご指摘のとおり「Bq(ベクレル)/kg」です。 送付資料の「令和3年度学校給食食材の放射性物質検査結果」の(参考)にも記載していますので、ご確認ください。</p>
---	---

議題2 学校給食における異物混入発生状況について

1	<p>(ご意見・ご感想) 異物混入は私の勤めている医薬品製造でも気をつけなくてはならない部分です。医薬品GMP三原則「人為的な誤りを最小限にすること」「汚染および品質低下を防止すること」「高い品質を保証するシステムを設計すること」を必ず守り製造していますが、給食の調理時において○原則など必ず守る事はあたりしますか？</p> <p>(回答) 千鳥学校給食センターの運営を委託している事業者には、衛生管理マニュアルや調理マニュアルなど、運營業務全体についてのマニュアル作成を義務付けています。 これを受け、運營業務者では、各種マニュアルを作成しており、例えば、一般衛生管理マニュアルでは、項目の一つに「従事者の衛生管理」があり、大勢の児童生徒の食事づくりには、食中毒などの集団給食事故の発生を防止するため衛生面について、「頭髪は清潔な帽子でおおい、髪の毛がでないよう、しっかりと止めておくこと」や「毛髪等の異物混入防止のため、作業衣、帽子ネット等の装着前に必ずブラッシングを行い、作業衣着装後必ず粘着ローラーで毛髪及びホコリ等を除去し作業すること(ヘアピン使用禁止)」、「調理室には、関係者以外の立ち入りをさせないこと」など、注意すべき事項を定めています。また、調理業務作業基準では、「従業員は前室にて衛生管理責任者(調理責任者)より個人別衛生チェックリストに基づき、身だしなみ、健康状態等の日常衛生検査を受ける」、「機械、器具は汚れがないか、とれそうな部品など異物混入のおそれがないか目視点検する」などの注意すべき事項を定めています。そして、従業員全員がその内容を理解できるよう、定期的に研修等を行っています。 しかしながら、今回、学校給食に異物混入があったことから、マニュアルの順守をより一層、徹底するよう努めてまいります。</p>
2	<p>(ご意見・ご感想) 異物混入については、いつも異物混入防止に努めていただきありがとうございます。今後どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>(回答) 学校給食に異物が混入しないように、今後も学校給食に関わる全職員が常に意識を持ち続けて、安心・安全な学校給食の提供に努めてまいります。</p>

3	<p>(ご意見・ご感想)</p> <p>学校給食における異物混入について、24件が多いのか、少ないのか分からないのですが、虫、毛髪については、防ぎきれない部分もあるのかなと思います。もちろん、目視など、注意が必要だと思います。</p> <p>シャープペンシルの芯については、厨房で混入する可能性は低く、学校内において、混入する可能性も否定できないと思います。厨房内にシャープペンシルは持ち込みしないは、すばらしい取り組みだと思いました。</p> <p>(回答)</p> <p>異物混入防止については、文部科学省「学校給食衛生管理基準」等に基づき、すべての工程において、その徹底を図り、安心・安全な学校給食の提供に努めてまいります。</p>
4	<p>(ご意見・ご感想)</p> <p>過去5年の異物混入状況を伺いたいのですが可能でしょうか。</p> <p>(回答)</p> <p>令和2年度は27件、令和元年度は17件、平成30年度は20件、平成29年度は20件、平成28年度は14件となっています。</p> <p>異物は、虫や毛髪が多い傾向となっております。</p>
5	<p>(ご意見・ご感想)</p> <p>異物混入の発生件数について、浦安市の状況の良し悪しを教えてくださいませんか。資料には過去の状況、他自治体の状況や目標値が記載されていないので、浦安市の置かれている状況を読み解くことができませんでした。</p> <p>(回答)</p> <p>過去の異物混入の発生状況については、上述のとおり、令和2年度は27件、令和元年度は17件、平成30年度は20件となっており、この件数は混入経路不明なものも含めた件数となっています。</p> <p>また、1校の1日あたりの異物混入割合（「異物混入件数」÷「年間給食日数」÷「学校数」）は、令和2年度（年間給食日数：169日）では0.61%、令和元年度（年間給食日数：173日）では0.36%、平成30年度（年間給食日数：187日）では0.41%となっております。</p> <p>異物混入の発生に「良し」はありませんので、異物混入が発生しないように、学校給食職員全員が常に意識を持ちながら取り組んでまいります。</p>
6	<p>(ご意見・ご感想)</p> <p>給食を食べる児童生徒と、その保護者が異物混入の状況を知りません。知らせない理由をお聞かせください。私自身の事として、過去5年ほど、給食に異物が混入されていた事例を伺った事はありませんでした。子供にも確認したところ、聞いた事が無いとの事でした。通知を見落としている事も、あるかもしれません。保護者や児童生徒が知る方法があれば、合わせてお聞かせください。</p>

	<p>(回答)</p> <p>異物混入には、「毛髪」や「虫」など、混入場所不明・原因不明なものがあり、また、特定の学級にのみ発生していることなどから、全保護者にすべての異物混入について通知はしていません。</p> <p>令和2年度に「ツナじゃが」の中に調理用酒紙パックのプラスチック開閉部が混入した時は、学校と協議し、当該学級の保護者に通知しました。このように異物混入の状況に応じて、ご報告すべき対象者には通知しているところです。</p>
7	<p>(ご意見・ご感想)</p> <p>過去の異物混入状況について、ホームページ等で公表されている情報はありますでしょうか。放射性物質の検査結果については、ホームページで見つける事ができましたが、異物混入については見つける事ができませんでした。</p> <p>(回答)</p> <p>異物混入に関する資料は、本委員会（浦安市学校給食センター運営委員会）で報告しているほか、市庁舎10階情報公開室で閲覧できます。</p>

議題3 食育事例報告「授業で学んだ栄養素などを活用した給食献立の提案」について

1	<p>(ご意見・ご感想)</p> <p>子どもたちが給食の献立を考えて提案し、実際に学校給食で提供する事はとても良い取り組みだと感じました。今私自身が困っている事は、この味にするには何の調味料や出汁を使うかが分からない時がありますので、子どもの時からこの料理には何で味付けをしているかを考えながら食べる事を子どもたちに学ばせてみてはどうかと思います。</p> <p>(回答)</p> <p>献立を考える授業では、多くの児童は料理名と食材までの記入で、調味料まで記入している子は数名でした。</p> <p>以前は、「こんぶだし」と「かつおだし」の飲み比べなどを授業で行っている学校がありましたが、現在のコロナ禍では、調理実習の授業ができません。料理の味は、実際に調理し調味料の適量や組合せを覚えることが大切であると感じています。</p> <p>コロナ禍においても可能な取り組みを、今後考えていきたいと思えます。</p>
2	<p>(ご意見・ご感想)</p> <p>南小学校での実践を興味深く拝見いたしました。子供たちの感想からも、栄養教諭の方が学校で、「栄養のバランスを考えた給食(食事)」についてお話をしてくださることは、子供たちの大きな学びになっていると感じました。</p> <p>全ての学校で「給食の献立作り」は難しいですが、6年生の学習「こんだてを工夫して(11時間扱い)」の導入の段階で、栄養教諭の先生にお話やご指導をいただくと有り難いと思いました。「どのような料理や食品を組み合わせるとよいだろう」の学習で、給食の献立の作成に関連してお話していただくとうれしいです。</p> <p>希望する学校が自らお願いすればよいのですが、小学校では、教師が毎年受け持つ学年が違うので、6年生の家庭科の授業で、給食センターの栄養教諭の先生による、「こんな出前授業ができます」という情報が各学校にいただくと有り難いと思いました。</p>

	<p>(回答)</p> <p>現在、給食センターでは学校における食育を推進するため、学校からの要望のあった場合に栄養教諭等が児童の発達段階に応じた食育授業を行っています。</p> <p>食育授業の実施に当たっては、出前講座のような様々なメニュー（テーマ）を揃えているものではなく、学校の教職員と連携し、連絡・調整を行いながら授業のテーマ・内容を決めています。</p> <p>今後、各学校において、さらに食育の取り組みが行われるよう、実施状況などを発信し、情報共有していきたいと思ひます。</p>
3	<p>(ご意見・ご感想)</p> <p>給食センターへの献立の提案は、市内小学校6学年の2クラスからのみ行われている様に読み取れますが、市内の他の6学年の児童はこの教育を受けられないという事でしょうか。</p> <p>(回答)</p> <p>前述のとおり、学校からの要望のあった場合、学校の教職員と連携し、連絡・調整を行いながら、授業時間や学年、学級など、各学校の状況に応じて授業のテーマ・内容・時間数を決めて実施しています。</p> <p>また、授業を実施していない学校には「給食だより」や「食育ニュース」を情報提供するなど、食育の推進に努めています。</p>
4	<p>(ご意見・ご感想)</p> <p>すばらしい取り組みだと思ひました。他の学校にも広がるといいと思ひました。</p> <p>(回答)</p> <p>南小学校の「授業で学んだ栄養素などを活用した究極献立の提案」に対する児童の感想のひとつに、「もっと感謝して給食を食べたいと思ひます」があり、食育を通じて栄養バランスだけでなく、“感謝の気持ち”にもつながったことは、とても重要なことであると思ひています。</p> <p>ご意見いただきましたとおり、今後も食育の推進に努めてまいります。</p>